PTA広報 たかおか

第164号
令和４年３月７日発行
高岡市ＰＴＡ連絡協議会
会　　長　宮田　淳也
広報委員長　滝口　浩史
事務局：高岡市教育委員会
生涯学習・スポーツ課内
ＴＥＬ（0766）20-1227

平米小学校

伏木小学校

定塚小学校

五位中学校

中田小学校

特集
学校活動でのニューノーマル（新しい生活様式）……P２・３

シリーズ
各学校ＰＴＡ紹介　……P４
▶芳野中学校　▶野村小学校　▶下関小学校　▶二塚小学校
市Ｐ連活動紹介　……P５・６

高岡市ＰＴＡ連絡協議会ホームページ
www.takaoka-pta.org

第９回富山県ＰＴＡ会員大会

ＣＨＡＬＬＥＮＧＥ→未知の領域へ　変化する時代にこそ挑戦を！　　窪田　豪

今年度のＰＴＡ会員大会も昨年に引き続き、来場者数を制限し、YouTube配信というハイブリッド形式での開催となりました。高岡市内各小中学校のＰＴＡから６０人の方の参加申し込みがありました。

私は実行委員のメンバーとして、５月頃から大会の準備や運営に携わりました。準備期間では、コロナの影響による急な委員会中止やリモートによる委員会開催など、入念な打ち合わせができず不安なこともありましたが、実行委員各自がそれぞれしっかりと役割を果たし、無事開催することができました。

基調講演では元日本代表女子バレーボール選手の大山加奈氏による「繋ぐ～バレーボールが教えてくれたこと～」というテーマで講演が行われました。大山氏自身の競技経験を踏まえ、輝かしい実績だけでなく、その裏には自身のケガやストレスによる苦悩があったとのこと。そして、長い人生の中で競技は人生の一部であり、それ以外にも大事なことがある。しかし、子供たちは目の前のことに一生懸命で、他の大事なことに気づくことは難しいことがあるかもしれないので、まわりの大人たちがしっかりと見守り支えていかなければならない、ということでした。

研究指定ＰＴＡ発表、パネルディスカッション「学校教育の今日的な課題と展望」とも学校と家庭と地域の連携やコロナ禍におけるＰＴＡ活動等についての発表がありました。新学習指導要領、ＧＩＧＡスクール構想、教職員の多忙化、コロナなど教育の変革期を迎えており、今後のＰＴＡ活動の参考になる会員大会であったと思います。

ＰＴＡ役員研修会

２月７日（月）「ＰＴＡ役員研修会」が開催されました。コロナ感染状況を踏まえ、今年度はリモートでの開催となりました。

今年度の単位ＰＴＡの活動状況発表は、定塚小学校ＰＴＡ、高岡西部中学校ＰＴＡでした。

定塚小学校は、創校１２０周年を迎えての行事への取組や閉校に向けての取組のほか、来年度の高陵小学校開校に向けて、平米小学校と一緒に取り組んだことなどが発表されました。

高岡西部中学校は、コロナ禍の中でもＰＴＡとしてどのように取り組んだか、３密を回避するための会議やYouTube配信での学校祭の取組など具体的な例を紹介しながらの発表がされました。また、今後の校区３小学校の統合や中学校移転についてのＰＴＡとしての取組も合わせて発表されました。

その後、統合に関する質問なども出て、質疑応答の時間が足りないと思えました。

５つの委員会の発表も、苦労しながらも取り組んだことが多くあり、今後の活動を考えるよい機会となりました。

最後に大橋仁美、高戸勇両アドバイザーから講評をいただき、閉会となりました。

高岡市教育委員会・高岡市への要望事項

１　教育環境関連	○	○
(1)ＩＣＴ教育の推進・充実	○	○
(2)教員の確保、多忙化の解消、教育の質の確保	○	○
(3)児童生徒の心への配慮	○	○
２　施設関連	○	○
(1)施設のセキュリティ強化	○	○
(2)安全・安心な通学路の環境整備	○	○
(3)校舎及び学校周辺の災害・緊急時対策	○	○
３　新型コロナウイルス感染症関連		
(1)命と人権を守る取り組みの強化		
(2)平等かつ公平な学校行事の判断		
(3)迅速な情報発信と細やかな情報開示		
４　その他		
(1)部活動の地域移行		
(2)学校施設整備等の予算拡充		
(3)高岡市ＰＴＡ連絡協議会の振興		

編集後記

今年度のテーマは、「学校活動でのニューノーマル（新しい生活様式）」です。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により多くの活動が中止や延期となりましたが、今年度は新しい生活様式の下、一部の学校行事が再開されましたことを一保護者として嬉しく思います。

国内で新型コロナウイルスの感染者が確認されてから２年、以前なら当たり前だったことが当たり前ではなくなり、子供たちはいろいろなことに我慢をしたり、機会を失ったりしてきました。

それでも子供たちは懸命に前を向いて今を生きています。そんな子供たちの為に今こそＰＴＡの力が必要なのではないでしょうか。ＰＴＡの一員として、今、何ができるのか知恵を出し合い、最善の道を模索していきたいと思います。

最後に、今回の発行にあたり、ご協力いただきました各学校ＰＴＡの皆様、先生方、広報委員の皆様に感謝申し上げます。牧野小・矢野

広報たかおか第１６４号編集スタッフ

委員長　滝口　浩史（中田小）
副委員長　黒田　隆大（定塚小）
特　集　山上　愛恭（伏木中）
太田　英人（伏木小）
本林　麻智（七府小）
単Ｐ紹介　吉本　恭子（大田小）
飛田　義博（芳野中）
今村　康弘（二塚小）
市Ｐ関連　宮本　繕征（野村小）
笠原　隆一（下関小）
森・スペシ　坂下　仁美（牧野中）
副会長　矢野のりこ（牧野小）
仁岸　宣彦（伏木中）

ほ場視察

１１月１７日（水）、たかおか地産地消推進ネットワーク主催の「ほ場視察研修会」が開催されました。

高岡市の小・中学校の給食では、積極的に高岡産の野菜や果物を取り入れる「地産地消」を行うことで、採れたてで新鮮で旬なものを使った“より安全で安心な美味しい給食”を子供たちに提供してくださっています。今回、視察させていただいたのは（有）スタファームさんの人参、（農）北陸営農組合さんのキャベツです。両ほ場にて、実際に収穫体験もさせていただきました。生産者さんたちが、毎年、美味しい野菜を作るために沢山の工夫と努力を重ねて美味しい野菜ができていることを実感しました。大切に育てられた野菜や果物は、栄養教諭、学校栄養職員の皆さんが愛情を込めて、栄養バランスを考えて、様々な料理となり、毎日子供たちの給食に提供されています。

学校給食は、教育の一環「食育」として、様々な取組がされています。家庭での取組として①家族そろっての食事②早寝早起き朝ごはん③地物野菜を選ぶ④農業体験・家庭菜園の４つです。生産者さんたちの思いや学校給食に関わってくださっておられる職員の皆さんに感謝しながら、望ましい食習慣を身につけ、自らの健康管理ができる心身ともに健康な子供に育つように、食の大切さを家庭でも伝えていきたいと思います。

貴重な体験、ありがとうございました。

親学び講座　～悩んでいるの、私だけ？“親学び”体験してみませんか～

１２月１５日（水）家庭教育委員会では市内ＰＴＡ会員の方を対象に親学び講座を開催しました。富山県ＰＴＡ連合会アドバイザー・富山県親学び小中スーパーリーダーの吉川佳子先生を講師にお迎えし、親学びについての座学と、～みんなどうしてる？子育て中のイライラ～をテーマにグループワークを行いました。会場では初対面のグループが知り合いだったかのように、子育てという共通項であっという間に盛り上がりました。

子供の立場で考える、期待しすぎない、一呼吸置き冷静になる、子供を信じて待つ、一人で頑張り過ぎない、そして親自身が自分を大切に、充実することが必要だと学ばせていただきました。ご多忙な中ご講演いただきました吉川先生に感謝を申し上げます。

アンケート結果より、参加者の半数が親学び講座に初参加の方でした。「楽しく参加できた」「単Ｐでも開催したい」など参考になったとのご回答を多くいただきました。

最後になりましたが、ご出席いただきました４４名の市ＰＴＡ会員様、役員諸先輩の皆様方ありがとうございました。

高岡リングプロジェクト

高岡リングプロジェクト

子どもたちの未来が
光り輝くために。

みんなの願いが叶うように。

そんな思いを乗せて
夜空に大輪を咲かせます。

QRコード

開催日時
2022.3.14（月）19:00～19:30
※予備日　2022.3.16（水）19:00～19:30

打ち上げ場所
市内６ヵ所（リレー方式にて打ち上げ）

※雨天決行
ただし、強風、雷雨等の悪天候の場合は延期とさせていただきます。

一昨年より続く新型コロナウイルス感染症により、子どもたちの活動は大きく制限されました。本来なら、より多くの思い出を友達や先生方と作り、夢と希望に満ちた学校生活を送っていたものと考えています。そんな思いをした小・中学生みんなの将来の夢や目標などの”願いごと”を募集し、その「願い（思い）」を込めた花火を空高く打ち上げることで、新年度の頑張りに繋げてもらい、光り輝く未来を応援したいとの思いで企画いたしました。

＜事業への思い＞

○子どもたちの願いを込め空高く打ち上げる大 輪 の花火
○家族や友達との会 話 のきっかけ（思い出）作り
○新型コロナウイルス感染症の早期収束（感染者 0 ）
○子どもたちが明るい平 和 な未来に向かって大きく 羽 ばたくように

芳野中学校ＰＴＡ　　会長　加藤　弘樹

昨年度は新型コロナウイルスの影響で思うようにＰＴＡ活動が行えず、子供たちも今までとは全く違う一年を過ごしてきました。今年度は少しでも子供たちのために何かしたいと思い、ＰＴＡスローガンとして「Ｌｅｔ’ｓ Ｄｏ Ｉｔ！～大切な人たちのために、今できることを考え、行動しよう～」を掲げました。

今年度の活動として、昨年度のＧＩＧＡスクール構想に基づいた、一人一台の学習端末が整備されたことを受け、学習端末を身近に感じ、積極的に活用してもらうため「ロボットプログラミング教室」を開催しました。また、コロナ禍で外出が制限され、ストレスを抱えた子供たちに親としてどう接してあげれば良いかを学ぶ機会として、講習会「コロナ禍だから考えたい子供との関わり方」を開催しました。

コロナ禍だからと何でも中止にするのではなく、状況を見据えながら安全性を重視した上で、どうしたら活動できるか、何ができるのかを常に考えて、子供たちのために先生方と協力しながらＰＴＡ活動を行っていきたいと思います。

野村小学校ＰＴＡ　　会長　室谷　　智

野村小学校は、昨年度創校１３０年を迎え、本年度は新たな１０年のスタートとして「今こそ！「知る」「考える」「動く」」をスローガンとしました。

子供たちを「地域の宝」として健全に育んでいくため、保護者の方々と学校がスクラムを組んでいくことはもとより、野村地区の方々とも連携して、小学校から地域全体に笑顔があふれることを目指しています。

今年度もこのコロナ禍で思うような活動が行えない中、運動会や親子活動を皆の協力のもと実施することができました。

まだ、これまで同様の活動が行えるような状況にはなっていないのですが、ニューノーマルの考え方のもと、一同力を合わせて、これまで以上に工夫した活動を実践してまいります。

芳野中学校区編

シリーズ　単Ｐ紹介

下関小学校ＰＴＡ　　会長　長守　寛之

下関小学校ＰＴＡでは、「子どもたちの未来(あした)のために。今できること」をスローガンに掲げています。

まだまだ思い通りの活動ができない中、子供達の健全育成につながるよう、教職員の方々、保護者の方々、地域住民の方々と協力し合い、子供たちのために、楽しい思い出づくり、夢や希望のもてる行事など、今ＰＴＡとして何ができるのかを考え活動に取り組んでいます。

先日の学習発表会においても、新型コロナウイルス感染症防止対策をしっかりと講じた上で、子供たちの日々の学習の成果を保護者の方々に見ていただきました。ＰＴＡとして、受付、誘導、消毒等を行うなど、教職員の方々と連携を取り、スムーズな運営に協力できました。子供たちの日々の成長、学習の成果が見られたよい学習発表会になったと思います。

今後も今何ができるのか、何をするべきなのか、状況の変化に柔軟に対応し工夫しながら、子供たちのためを考え、活動を続けていきたいと思います。

二塚小学校ＰＴＡ　　会長　蓑口寛之一

二塚小学校は市南部に位置する農村地帯ですが、近年は交通及び商業分野における開発の波が押し寄せ、子供たちを取り巻く教育環境も日々変化しています。

少子高齢化の影響により児童数が減少する中、地域、保護者、学校が一丸となって一人一人の子供たちを健やかに育む取組を行っています。

昨年度予定していたにもかかわらず行われなかった親子活動は、今年度は各学年の学級委員及び教職員が協力し、このコロナ禍の様々な制約のある中、１学期中に全学年行うことができました。また、全学年の児童、保護者を対象に行われている生活保健委員会、父の会合同の清掃奉仕活動でも、大勢の方の参加協力を得てグラウンド、校舎敷地内の除草清掃を行うことができました。夏以降の第５波の影響もあり、２学期以降のスケジュールも大幅に変更となりましたが、これからも皆で力を合わせて対応していきたいと思います。

今回のコロナ禍をきっかけに保護者の方が無理なく活動出来る体制作りも合わせて取り組んでいるところです。

特集　「学校活動でのニューノーマル（新しい生活様式）」

「感染対策をしながら　仲よし大作戦」

コロナ禍の中で感染対策をしながら、牧野っ子全員が仲よくなるために楽しんで遊ぶ作戦を、児童会が各クラスから募集して行いました。長休みの時間に、グラウンドでは「逃走中」、体育館では「アメリカンドッジボール」、教室では「フルーツバスケット」や「王様じゃんけん」など盛りだくさんの企画が行われ、牧野っ子の抜群の笑顔や元気な声があふれました。

牧野小学校

「同じ活動を続けるためにこれまでと違う工夫が必要」～富山県花のまちづくりコンクール　最優秀賞～

コロナ感染症の影響により、学校生活、行事が形を変えて行われています。

これまでと同じ活動を行う＝これまでと違う形、と個人的には思っているので、全てがニューノーマルに感じてしまい、簡単にはお伝えしきれません。

今年度も学校花壇の整備をＰＴＡで行い、子供たちが花の苗を植えて、水やり、除草を行いました。その結果「第４８回富山県花のまちづくりコンクール　学校花壇の部　最優秀賞」に選ばれました。

学校花壇ではこれまでもたくさんの賞をいただいてますが、今までと同じ様に活動しているようで、絶対に工夫が必要になっていますよね。

成美小学校

「合唱コンクールを YouTube でライブ配信」

本校では、１０月１５日(金)に合唱コンクールを、１６日(土)に学校祭を開催し、今年度は、両日ともYouTubeにてライブ配信しました。合唱コンクールは、学年の保護者のみの観覧、学校祭は、保護者の観覧は遠慮いただくというように新型コロナウイルス感染防止のため制限が設けられており、来校できない保護者や家族の皆様に見ていただくために行いました。再生回数は、両日で１５００回を超え、多くの保護者から好評を得ました。

高岡西部中学校

「ＧＩＧＡスクール構想　Ｖ－ＣＵＢＥで配信」

１２月１３日(月)教育環境講演会が、高岡市内の各ブロックの中学校でＶ－ＣＵＢＥを使って行われました。平日の夕方にもかかわらず、１００名という大変多くの方が参加されました。

講師の川辺勝治先生は、高岡市教育委員会参与で、ＧＩＧＡスクール推進担当として初期の段階から携わっておられ、今現在にあっても、高岡市内のＧＩＧＡスクール普及活動にご尽力されておられます。

今回は、ＧＩＧＡスクール導入までの経過、端末の活用、端末の活用に関する課題の３つの内容で講演頂きました。

今現在の高岡市内の各学校における通信環境については大変充実したものになっており、各学校におけるＩＣＴを活用した取組についてもご紹介いただき、大変興味深く聞くことができました。

高岡市教育委員会では、ＩＣＴの普及においてどのような危機感をもち、環境整備しているのかについてや、ＧＩＧＡスクール構想において「自分の考えを持ち、適切に表現する力である論述力の向上」がＰＣでできる子供を育成することを目標にしていることを知ることができました。

参加者の多くの方に、参考になった、各学校の取組についてもっと知りたいなどの感想をいただきました。

最後になりますが、ご多忙の中ご講演いただきました川辺参与に感謝申し上げます。

また、役員の皆様、ＰＴＡ会員の皆様、大変多くご参加いただきましてありがとうございました。

『今必要な活動』へのシフトチェンジ!!

昨年度からの新型コロナウィルス感染症拡大に伴い、子供たちの学校生活やＰＴＡ活動には大きな制限と意識改革が急務に強いられる事となりました。

計画していた行事や活動が休止や縮小となるなか、制限はあったものの、５月には運動会、１０月には学校祭を実施。時間短縮や接触回避上、例年のＰＴＡ競技やバザーは実施できませんでしたが、来場客の受付(感染防止対策を実施)を行うなど、ＰＴＡとしても協力させて頂きました。

例年通りの活動が出来ない各委員会の活動としては、今後の体調管理が更に要求される事を想定しアイスノン枕のカバー作り教室を開催したり、巡視パトロールやバザーが行えない代わりに学校花壇の苗植えを実施したりと違った方向から子供たちの笑顔を守るお手伝いをしました。広報「萬葉」も無事発刊することができました。限られた活動の中、内容の濃い素晴らしい広報誌が出来上がりました。

ＰＴＡとして例年通りの活動は勿論重要で大切な活動ですが、このコロナ禍の中、臨機応変に『今必要な活動』へのシフトチェンジが求められている様に思います。

伏木中学校ＰＴＡはこれからも子供達の笑顔を第一に考え、少しでも力になれる様協力をしていきたいと考えています。

伏木中学校